

## 事業報告

令和3年度地域ぐるみで

「体験の風を起こそう」運動推進事業

「第5回いなわしろフェスティバル 春」



令和3年6月5日（土）～6月6日（日）

【参加者】家族、地域一般

宿泊（5日）83名 日帰り（6日）483名

【場所】国立磐梯青少年交流の家

○共催○ NPO法人猪苗代研究所（いなラボ）

○後援○ 猪苗代町教育委員会 磐梯町教育委員会  
北塩原村教育委員会

### ○事業背景○

感染症流行禍にあって、子供たちの体験の場が減少していることを受け、子供たちへの体験活動の提供及び事業を通じ地域の教育力を高めるため、「いなわしろフェスティバル春」を実施した。

### ○目的○

子供たちやその保護者等に体験の楽しさを伝えるとともに、「体験の風をおこそう」運動を広めるため、関係機関・団体と協力して、ご家族が楽しく遊び、様々な体験ができる機会を提供する。

### ○概要○

6月5日（土）～6月6日（日）の2日間にわたり実施した。5日は宿泊参加者を対象にしたナイトプログラム、6日は、地域の団体等の御協力をいただき、当所敷地内に様々な体験ブースや飲食ブースを設営し参加者に多種多様な体験プログラムを提供するとともに、陸上自衛隊福島駐屯地音楽隊や地元の青少年のダンスサークル、和太鼓チームの演奏・発表をしていただいた。

また、コロナ禍でも安全で充実した体験活動を提供するために、新しい生活様式・感染予防対策を取り入れた運営を行った。

### ○感染予防対策○

- ① 参加対象を、原則、福島県民に限定した。
- ② 参加者には当施設の新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインを一読いただき承諾を得るとともに、宿泊参加者には夜・朝の定時検温を実施して体調の把握に努めた。
- ③ 5日の宿泊参加者用プログラムではあそびリンピックプログラムを実施したが、通常、体育館等1か所に集まってプログラムを提供するところ、各種目を館内の研修室に分けて配置し、「あそびリンピックオリエンテーリング」という形でプログラムを運営し、密な状況を極力つくりたくないよう配慮した。
- ④ 6日のメインプログラムにおいては、一般入場者用に受付を設営し、検温・名簿記載（追跡調査用）を行うとともに、ブース出展スタッフ全員の検温を行い、異常がない参加者・スタッフにはリストバンドを装着させ、体調異常がないことの「見える化」を図った。
- ⑤ ブース出展者に手指消毒・スプレー消毒・フェイスシールドを配布し、活用いただくことで感染予防の徹底を図った。
- ⑥ ステージ発表時、出演者と観覧者に十分な距離をあげ、飛沫による感染が発生しないように配慮した。

### ○ブース内容○

#### 「体験ブース」

- 森のスライダー
- スナックゴルフ
- 磐梯山ジオラマ作り
- ペットボトルロケット体験
- 森のスプレー作り
- 動物ふれあい体験
- 缶バッジ作り体験
- あそびリンピック
- 手裏剣ストラックアウト
- しゃぼん玉遊び体験



- 薪割り体験・精油作り体験
- 科学工作体験
- おさかな展示
- こけしお面絵付け体験
- ニュースポーツ体験

#### 「ステージ発表」

- 陸上自衛隊福島駐屯地音楽隊によるオープニング演奏
- D-BROTHERS によるヒップホップダンスの発表
- 和太鼓「山照らす」の発表及び和太鼓演奏体験

#### 「その他」

- わたがし作り体験
- 野点体験
- 地元警察署による PR ブース
- 地元消防署による PR ブース
- 飲食販売ブース



#### ○協力団体○（順不同）

株式会社リオン・ドールコーポレーション・NPO 法人猪苗代研究所・猪苗代警察署・猪苗代消防署・ボーイスカウト猪苗代第1団・磐梯山ジオパーク協議会・福島県レクリエーション協会・アクアマリンいなわしろカワセミ水族館・磐梯高原南ヶ丘牧場・和太鼓山照らす・D-BROTHERS・郡山市ふれあい科学館スペースパーク・茶道裏千家熊倉宗久社中・吉田ベーカリー・陸上自衛隊福島駐屯地広報業務室・NPO 法人グリーンエネルギーユーズ・福島県内水面水産試験場・コンパスグループ・ジャパン株式会社・福島県郡山自然の家・福島県会津自然の家・山形県飯豊少年自然の家・さいたま市立舘岩少年自然の家・国立花山青少年自然の家・国立那須甲子青少年自然の家

#### ○事業評価○

新型コロナウイルス感染拡大が懸念され、地域の様々なイベントが中止となっている中、当事業の実行委員会では、事業を中止とすることは簡単ではあるが、コロナ禍において、子供たちの体験活動の機会が減少している今だからこそ、何とか工夫して事業を運営できないか実施の可否や運営内容などについて議論・検討を重ねてきた。

開催予定日前に、県の緊急対策期間が解除され、感染予防対策を徹底することで本事業の実施を決定し、大きな事故や感染者の発生もなく事業が実施できた。

ブース等の出展については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から辞退された団体もいっしょだったなかでも、多くの団体にご協力いただき、参加者にバリエーション豊かな楽しい体験プログラムを提供することができた。

参加者からは、「コロナ禍で様々なイベントが中止になっていた中で、久しぶりに子供をたくさん遊ばせることができた」「感染症対策や密を作らない工夫が見て取れて安心して活動できた」、出展者からも「久しぶりにイベントを通してPRができた」等のお声をいただき、コロナ禍対策を施した事業運営に好評を得ることができた。

今回の事業運営で試行した感染予防対策を踏まえた事業運営方法、及び反省点を職員間で共有するとともにノウハウをブラッシュアップし、今後のコロナ禍における安全な事業運営に活かしていきたい。